

結果の概要

1 世帯の状況

この14年間で、「夫婦のみの世帯」の割合は増加、「三世代世帯」、「親なし子ありの世帯」の割合は減少

第1回調査(平成17年)から14年間の世帯構成の変化をみると、「夫婦のみの世帯」は、第1回21.5%から第15回45.0%と増加している。一方、「三世代世帯」は、第1回22.2%から第15回11.9%、「親なし子ありの世帯」は、第1回39.4%から第15回24.4%と減少している。(図1)

また、第1回の世帯構成別に第15回の世帯構成をみると、「夫婦のみの世帯」に変化した割合は、「親なし子ありの世帯」が43.4%、「親あり子なしの世帯」が39.0%と高くなっている(表1)。

図1 第1回調査から第15回調査までの世帯構成の変化

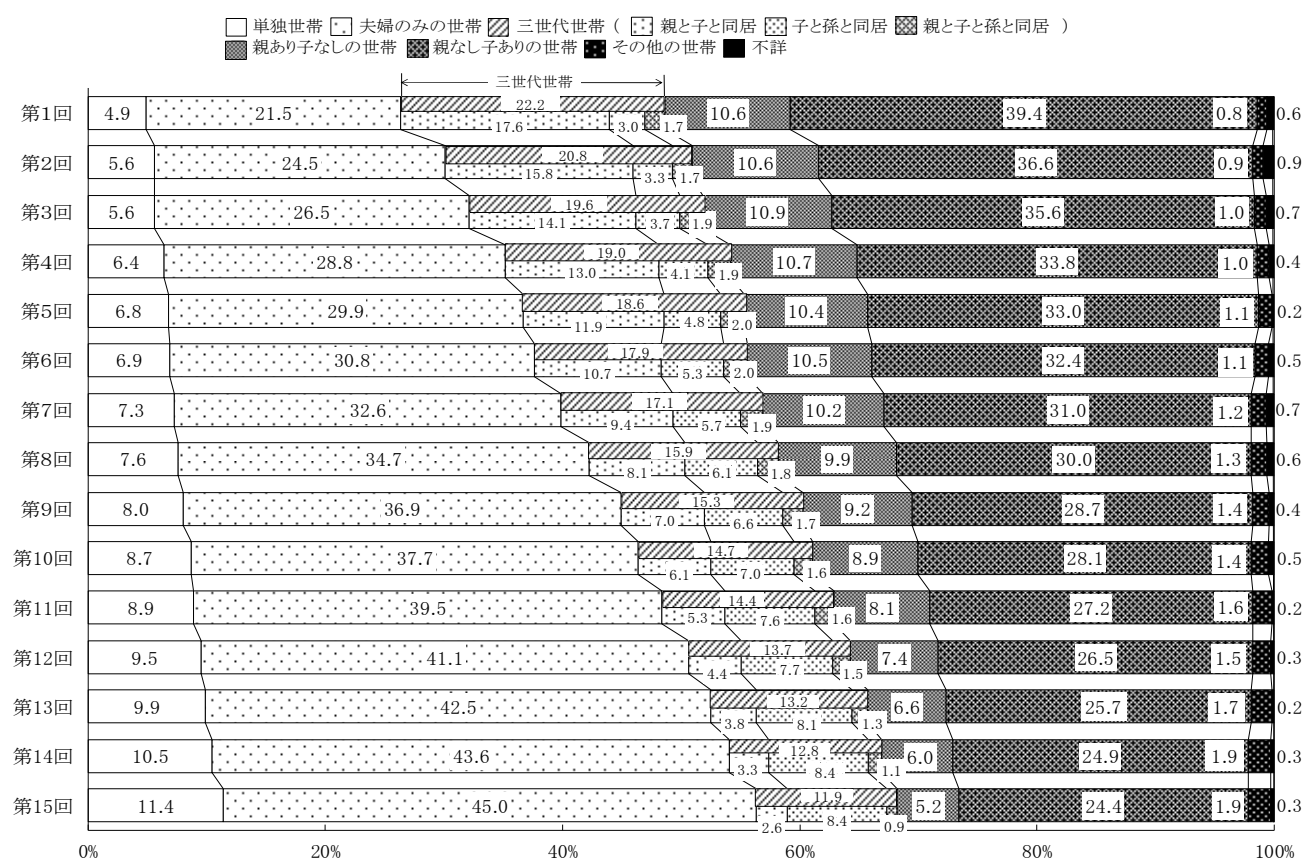


表1 第1回調査の世帯構成別にみた第15回調査の世帯構成

(単位: %)

	第15回の世帯構成								
	総数	単独世帯	夫婦のみの世帯	三世代世帯	親あり子なしの世帯	親なし子ありの世帯	その他の世帯		
第1回調査の世帯構成	総数	(100.0)	100.0	11.4	45.0	11.9	5.2	24.4	1.9
	単独世帯	(4.9)	100.0	71.6	12.1	3.8	2.7	6.3	3.2
	夫婦のみの世帯	(21.5)	100.0	8.5	75.7	5.1	1.6	7.8	0.9
	三世代世帯	(22.2)	100.0	4.1	29.0	30.3	9.1	26.1	1.3
	親あり子なしの世帯	(10.6)	100.0	20.5	39.0	7.8	20.6	6.6	5.3
	親なし子ありの世帯	(39.4)	100.0	6.6	43.4	7.7	1.2	40.0	0.8
	その他の世帯	(0.8)	100.0	22.2	21.5	2.1	0.7	4.9	47.9

注: 総数には第1回及び第15回の世帯構成の不詳を含む。